学校番号	3019

令和８年度　福祉科

教科	福祉	科目	福祉情報	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	「福祉情報活用」（実教出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

介護福祉の現場では、２０２１年度から科学的介護情報システム（LIFE）を活用し、エビデンス創出が加速しています。現場の課題は、データ入力の負担が大きくICTリテラシー不足や研修体制の不十分さが指摘されています。そうした課題の理解と対応できる力を身につけましょう。

①基本的なソフトウエアの使い方や福祉分野における情報機器の利用に興味を持って、積極的に授業に取り組みましょう。

②インテックス大阪で開催されるバリアフリー展の見学会に参加し、ICT を活用した高齢者や障がい者の自立支援について最新の情報機器を学習しましょう。

2　学習の到達目標

福祉の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、情報及び福祉分野における情報の活用に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目標とします。

【知識および技術】

情報及び福祉分野における情報の活用について体系的・系統的に理解するとともに，関連する技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

情報及び福祉分野における情報の活用に関する課題を発見し，職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

健全で持続的な社会の構築を目指して自ら学び、情報及び福祉分野における情報の活用に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	情報機器や情報通信ネットワークに関する資質・能力を福祉分野と関連させながら体系的・系統的に理解しているとともに、実践的・体験的な学習活動を通して関連する技術を身に付けている。	情報及び福祉分野に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ、解決する力を身に付けている。	情報及び福祉分野における情報を適切に活用するため、福祉の見方・考え方を働かせ、主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	第3章　福祉分野における情報活用	第3章　福祉分野における情報活用 1節　情報分野における情報活用の意義 ●バリアフリー展の見学と報告会	a:福祉サービスにおける情報機器の役割と利用状況について理解するとともに、情報機器や情報通信ネットワークを利用した福祉サービスの各分野について理解できる。 b:福祉サービスにおける情報機器や情報通信ネットワークについての課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に考えられる。 c:情報機器や情報通信ネットワークの活用、福祉情報の共有化及び福祉サービスの質的向上について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組める。	定期考査 確認ﾃｽﾄ グループワーク 発表	定期考査 確認ﾃｽﾄ グループワーク 発表	グループワーク 発表
	第2章　情報モラルとセキュリティ	第2章　情報モラルとセキュリティ 1節　ネットワーク社会の危険性 2節　情報モラルとマナー 3節　セキュリティ管理	a:情報モラルとセキュリティについて理解するとともに、関連する技術を身につけることができる。 b:情報社会における法と個人の責任などについての課題を発見し，職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に考えられる。 c:　情報モラルとセキュリティについて自ら学び、主体的かつ協働的に取り組むことができる。	定期考査 確認ﾃｽﾄ	定期考査 ﾜｰｸｼｰﾄ グループワーク	ﾜｰｸｼｰﾄ グループワーク 提出ノート 観察
	第4章　情報機器のしくみ	4章　情報機器のしくみ 1節　コンピュータのしくみ 2節　ハードウェア 3節　ソフトウェア	a:情報機器の基本的な機能と必要な周辺機器の仕組みについて理解するとともに、関連する技術を身に付けている。 b:情報機器についての課題を発見し，職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に考えられる。 c:情報機器について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組むことができる。	定期考査 確認ﾃｽﾄ	定期考査 ﾜｰｸｼｰﾄ	ﾜｰｸｼｰﾄ 提出ノート 観察

2学期	第5章 情報通信ネットワーク	5章 情報通信ネットワーク 1節 情報通信ネットワークのしくみ 2節 通信ネットワークの利用	a:情報通信ネットワークやプログラミングについて理解するとともに、関連する技術を身に付けている。 b:情報通信ネットワークについての課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に考えられる。 c:情報通信ネットワークについて自ら学び、主体的かつ協働的に取り組むことができる。	定期考査 確認ﾃｽﾄ 実技ﾃｽﾄ	定期考査 実技ﾃｽﾄ ﾜｰｸｼｰﾄ	ﾜｰｸｼｰﾄ 提出ノート 観察
	第6章 情報の処理・分析・発信	第6章 情報の処理・分析・発信 1節 日本語ワードプロセッサの利用 2節 表計算ソフトの利用 3節 画像処理ソフトの利用 4節 プレゼンテーションソフトの利用 5節 Web ページ作成ソフトの利用	a: 基本的なソフトウエアについての知識と技術を身に付けることができる。 b: 基本的なソフトウエアの利用について思考を深め、適切に活用することができる。 c:基本的なソフトウエアについて興味や関心を持ち、効果的な使い方について探求しようとしている。	定期考査 実技テスト	定期考査 実技テスト	ﾜｰｸｼｰﾄ 提出ノート 観察
3学期	第3章 福祉分野における情報活用	第3章 福祉分野における情報活用 2節 福祉サービスにおける情報機器活用の実際 3節 福祉分野における個人情報の管理	a:福祉サービスにおける情報機器の活用や個人情報の管理について基本的な知識を理解している。 b:福祉サービスにおける情報機器の活用や個人情報の管理に関する課題について思考を深め、情報を収集し、適切に活用できる。 c:福祉サービスにおける情報機器の活用や個人情報の管理の意義と役割について探求しようとしている。	定期考査 確認ﾃｽﾄ	定期考査 提出ノート ﾜｰｸｼｰﾄ	提出ノート ﾜｰｸｼｰﾄ 観察 発表

	第7章 ICTを活用した自立生活支援	第7章 ICT を活用した自立生活支援 1節 ICT の利活用の意義 2節 自立生活支援への ICT の利活用	a:自立生活支援における ICT の利活用の意義を理解し、知識を身に付けている。 b: 自立生活支援における ICT の利活用の意義について思考を深め、情報の収集や整理分析などの効果的な活用法を考えることができる。 c: 自立生活支援における ICT の利活用の意義について思考を深め、情報の収集や整理分析など発展的な内容について探求を示すことができる。	定期考査 確認ﾃｽﾄ	定期考査 提出ﾉｰﾄ ﾜｰｸｼｰﾄ	ﾜｰｸｼｰﾄ 提出ノート 振り返りシート 観察

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度